

あなたにとってサステナブルな世界とは（第 139 回情報交換会アンケート）
1. 特別な活動、第三者認証、取り組みなど無くても問題や課題が無く経済活動が出来る世界。
2. 周囲の人たちと調和、取り巻く環境に適応しつつ、現在の活動を発展させていく世界。
3. 利益を追求しない世界。
4. リニア経済ではなく段階的なリサイクル型経済を補填し残り全てを完全に戻す循環型経済。
5. 将来世代を含め、過度な制約や不都合・不便さを感じることなく、自然な形で資源・エネルギーを利用できる世界
6. 環境面だけでなく社会経済もサステナブルな世界。
7. モノに対して敬意をはらい、良いモノを愛で、永く使う世界。
8. 物のありがたみを感じ、大切に最後まで使うこと。 色々な過程を経て出来上がっている、どの過程でも労働（金銭）がついて回る、 経済も成り立つようにしなければならない。
9. 新疆ウイグル問題やジェノサイドなども関連してくると思うが、経済的強者が弱者を使いばしるや弾圧など、そもそも持続可能性に欠ける事、そして安価なアパレルは少なくともそれに関わって作られていると思ってよい
10. 抽象的な言い方だが、森羅万象においてプラネットバウンダリーの枠内で必要なものが必要なだけ常にあり、循環している世界。そうなったあかつきには、産業の生産性の高低によらず誰もが一定の水準では生活できることを保証されていなくてはならない。
11. ムダなものを排出しない、作らない、リサイクルを見据えたものづくり。
12. サーキュラーエコノミーとカーボンニュートラルの両立。
13. ものを大切にする世界。
14. 日常で持続可能な美しさを持つデザインを多くの人が意識できること。
15. 最終的には省資源の世界かと。
16. 「捨てるという概念を捨てよう！」です。
17. すべての人が自分のまわりのもの・ことを大切に思う世界。
18. 繊維にたずさわっている仕事ですので、リサイクルや植物由来素材が繊維原料に大いに活用されて、地球環境への負荷低減に大きく貢献できる世界。
19. 安全安心、自然回帰。
20. 個人個人が循環に理解があること。各々の選択の先にある影響について、個人個人が意識すること。
21. 誰（事業者含む）かだけが負担（コスト含め）強いられることなく、皆が協力して負担し 参加し、継続できる世界。
22. 企業として取り組まなければならないもの。
23. 個々の消費者の視点（想像力）を、目の前からもっと先の方へと伸ばすことだと思っています。それをお手伝いするデザインを考えていければ、と思っています。
24. 本来は、人が自然の一部として生きて共存する世界。しかし、現実人間主体の世界なので、人と自然、生活者と生産者、地域社会相互、国内外の文化間など、異次元での対話や調整ができる世界。個人の欲望や組織の利権で、生産と消費のバランスが崩れることにより、持続性は崩れ、どうバランスを取るかの解決策を見つけようとする世界が、サステナブル。
25. 仕事に即しては、資源（繊維原料）が循環して（サーキュラーに）使われ、用いるエネルギーも再生可能なエネルギーが使われていて、携わる人達が生き生きと働いている世界。
26. 各自が自分や家族の将来的な環境について考えることが当たり前になっている世界。

27. 都道府県くらいの範囲の中で、最低限、生活に必要なものが回る世界。最低限を越えるものについては、気に入ったもので長く使えるものを買うこと。世界的に言えば、プラネタリーバウンダリーで言われている事象が、適正に近づくことかと思いますが、世界人口が多すぎるので、残念ながら夢物語かなと感じています。
28. 不要な物も再資源化でき、再び価値ある物として売る事で環境も経済も循環し続ける世界。
29. 多少の不便や割高感が有っても、社会が許容し一体的に循環する高度に成熟した世界。
30. 生産者、消費者、環境それぞれに負荷を与えず維持していくことができる世界。
31. まさに”世界を変えるための 17 の目標”を遂行するときだと思っています。
32. サステナビリティを意識した会社、ということが PR として使われるのではなく、サステナブルな社会が当たり前である世界。H&M さんで販売されているアクセサリが“環境に配慮したもの”とありました。どんな環境に配慮したものなのか？とそこまで調べようとは思いませんでしたが、“環境にいいもの”というだけで、私の中で他の同じ価格のアクセサリよりもよく思いました。サステナブルなことが商品の付加価値になりつつあるなと感じました。今は“環境によいもの”というのが若干 P R 要素も含んでいるのかな？と思ってしまっていますが（私は魅力に感じますが）、これが P R として使われるのではなく、当たり前になる世界が本当のサステナブルな世界かなと思います。
33. 誰かがやることではなく、みんなで取り組むもの。田舎暮らしのアップデートされたようなイメージ。実的なコミュニティ自体は小さくなり、ネットの世界で世界は広がっていくような世界があるような感じへ。
34. 環境だけでなく、人や物、すべてが理にかなって無駄なく潤滑に動くような世の中になること。 みんなが納得してみんなで取り組むことができる世界。
35. シンクグローバル アクトローカル。
36. 便利さを追求し過ぎない世界。
37. 産業革命前の世界。大量生産・消費をしない世界。
38. 良い商品を高くても購入し、使用後はリサイクルとバージン繊維でのファッション生まれ変わり 循環型の商品になる世界。
39. 自然環境 社会環境 人間（心）環境に対する人間の優しさ。
40. バイオマス原料でリサイクルされ最終的に生分解性する流れ。
41. 経済活動が人類に悪影響を及ぼさないことを優先することが重要 各企業が足並みをそろえること施スフのリーダーシップが大事。
42. 9 年前、木村教授から教えていただいた自分たちがサイクルを築かないと世界は維持できない。身近な資源の活用を考え、植え付けられた人の価値観を変えていく世界と考えています。
43. 理想の世界。私はメーカーに勤めていますが、大量生産、大量消費の時代ではなくなっていることはよく理解しているつもりです。しかし今後どのように変革すべきかが見えない状況にあるのが現状です。その一環がリサイクルであろうと思われます。世界的な動きとすれば業界再編がなされ、選ばれし企業に残り、その他企業は淘汰されています。企業もサステナブルを目指して如何に残るかが課題なのでしょう。
44. 前提は当然カーボンニュートラル。地球上の種の保全を考えると人間の生息数の適正化（減少）も必須か？ 価値観の転換（経済成長⇒地球の持続性向上）・・・新しい哲学、世界観後々の人につなぐこと。丁度日本の林業が後の世のために植林を続けているようなことだと考えています。
45. フラットな社会構造で、年齢も性別もキャリアも関係なく、人間性を重視した世界。